

第4章 方法書からの変更内容の概要

4.1 方法書からの変更内容の概要

「仙台市環境影響評価技術指針」（平成11年4月）に基づき、方法書に対する市民等や市長の意見により、方法書の内容を変更した事項について示す。

4.1.1 事業計画に関する事項

事業計画に関して方法書からの変更内容の概要を表4.1-1に示す。

事業計画に関して、方法書に対する市民等や市長の意見を踏まえた変更はない。ただし、方法書提出以降に事業計画の検討が進み、熟度が高まった点がある。

表 4.1-1 方法書からの変更内容の概要（事業計画に関する事項）

項目	変更等の内容	変更理由 ^{※1}		記載頁
		意見	その他	
施設配置計画	・施設内の区画等に関する設計進展により延べ床面積等を変更 ^{※2} した。		○	1-7
	・基礎の位置形状の検討が進んだため、基礎概要図を追加した。		○	1-9
	・洗車場の位置を変更した（北西側→北側）。		○	1-10
	・埋蔵文化財の展示スペースを追加した。		○	1-10
緑化及び景観計画	・緑化方針について検討が進んだ内容を追加した。なお、市長意見も踏まえて検討した。	○	○	1-13
交通計画	・「コンテナルート」について、計画地南側の出入口～高砂コンテナターミナルのルートを追加した。		○	1-15
環境影響評価の実施にあたっての配慮事項	・「水の汚れ・地下水汚染等」に、給油作業中の漏洩事故防止対策を行う旨を追加した。	○	○	1-21
	・「動物」について、車両走行時に動物の存在に注意し、ロードキル防止措置（速度低下等）をとる旨を追加した。	○		1-22
関係地域	・白鳥1丁目を関係地域に追加した。	○		5

※1 変更理由について、「意見」は市長等の意見による変更、「その他」は事業計画の熟度が高まったことによる変更。

※2 建築面積（21,300 m²→21,500 m²）、延床面積（62,000 m²→63,000 m²）

4.1.2 環境影響評価項目に関する事項

環境影響評価項目の選定について方法書からの変更はない。

4.1.3 調査、予測、評価手法に関する事項

調査、予測、評価手法に関して方法書からの変更内容の概要を表 4.1-2 に示す。

表 4.1-2 方法書からの変更内容の概要（調査、予測、評価手法に関する事項）

環境影響 評価項目	変更等の内容	変更理由*	
		意見	その他
大気質	・予測地点に中野測定局を追加した。	○	
騒音	・仙台港 IC と仙台港ターミナルを結ぶ幹線道路について荷役等に起因する交通量の日変動を把握するため、補足的な交通量調査を行った。	○	
振動	(特になし)		
動物	(特になし)		
景観	・「なかの伝承の丘」を景観資源の調査対象として追加した。	○	
自然との触れ 合いの場	(特になし)		
文化財	(特になし)		
廃棄物等	(特になし)		

※ 変更理由について、「意見」は市長等の意見による変更、「その他」は主に事業計画の熟度が高まったことやデータの入手可能性を踏まえた変更である。